

講座名（専門科目名）	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授氏名	猪原 秀典
学生への指導方針	下記の各分野のうち、学生の興味を尊重し、適宜他研究室とも連携を取りながら各学年に併せた指導を行っている。また、各種生理機能検査や専門外来を担当し、研究や臨床研鑽に役立てている。		
学生に対する要望	大学院生の受け入れの予定はありません。		
問合せ先	(Tel)06-6879-3951 (Email)hisyo@ent.med.osaka-u.ac.jp	担当者	端山昌樹（助教）
その他出願にあたっての注意事項等	大学院生の募集は耳鼻咽喉科教室員のみ限定させていただいております。そのため大学院生の受け入れの予定はありません。		

（以下教室紹介）

当教室は頭頸部腫瘍、聴覚、めまい平衡、音声嚥下、鼻副鼻腔・免疫アレルギーの各分野で、基礎あるいはトランスレーショナル研究を行っています。大学院入学後は当教室だけではなく、学内外の他研究室とも連携することにより、研究を進めていきます。大学院修了後には希望者には留学についても積極的に支援しております。

現在、大学院生が取り組んでいるテーマを分野ごとに記載いたします。ご参照ください。

<腫瘍>

- ・放射線治療抵抗性頭頸部癌に対する解糖系を標的とした新規治療法の開発
- ・頭頸部癌における ^{18}F -FDG PET 画像より得られる腫瘍代謝容積(MTV)の検討
- ・ホウ素中性子補足療法における新たなホウ素化合物の基礎的検討
- ・頭頸部癌と遺伝子に関する研究
- ・遺伝統計学
- ・HPV 陽性中咽頭癌における E6/E7 遺伝子の機能解析
- ・K14-E7 Tg マウスと Pik3ca 変異マウスを用いたヒトパピローマウイルス陽性頭頸部癌モデルマウスの開発
- ・HPV 陽性前癌病変とそのバイオマーカーの同定
- ・HPV 陽性中咽頭癌の個別化治療にむけた ct-DNA モニタリングの有効性について

<聴覚>

- ・内耳に特異的に発現する遺伝子の研究
- ・上皮機能、構造解析：特に多繊毛上皮機能、上皮細胞内極性に関して
- ・中耳真珠腫の骨破壊機序の解明
- ・シスプラチンおよび騒音による内耳障害の研究
- ・骨格筋型ミオシン軽鎖キナーゼを標的とした新規筋弛緩薬、筋収縮薬の開発

<めまい平衡>

- ・偏中心回転検査と前庭誘発筋電位検査（VEMP）を用いた耳石機能の研究

<鼻副鼻腔・免疫アレルギー>

- ・鼻茸組織由来組換え IgE 抗体を用いた好酸球性副鼻腔炎のアレルゲン同定
- ・好酸球性副鼻腔炎に対する抗 Semaphorin 4D 抗体を用いた新規治療法の開発
- ・Eosinophil derived neurotoxin による鼻茸リモデリング機構の解明

<音声・嚥下>

- ・高速度撮影装置および電気声門図を用いた咳払い時における喉頭閉鎖運動の分析法の確立
- ・咳払い時における電気声門図の最大振動数を用いた咳払い効率の評価法の開発